



神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

くさか景子の

No. 68
県議会報告
2013
謹賀新年号

ちょっ

と よろしいですか!

と



2013年 憲法改正に反対し、 原発のない平和な社会をつくろう!

昨年末の総選挙における厳しい結果は、民主党への政権運営に対する国民からの重い審判であり、その結果は真摯に受け止めなくてはならないと思います。今後も、私は、より一層、地方議員の役割と責任を全力で果たしてゆきたいと思います。

東日本大震災からまもなく2年、本年も私は、昨年同様、東北支援・脱原発運動をすすめます。

さらに、子ども政策・男女共同参画・障害者就労支援などの課題にも積極的に取り組んで参ります。

本年も変わらぬご支援をよろしくお願ひします。

新春県政報告会

2013年「くさか景子新春の集い」のご案内

日 時 **2013年1月20日**(日)

午後 **6時30分**開会 【午後**6時00分**受付】

会 場 **茅ヶ崎市役所分庁舎 6階コミュニティホール**

会 費 3,000円(軽食、飲み物)

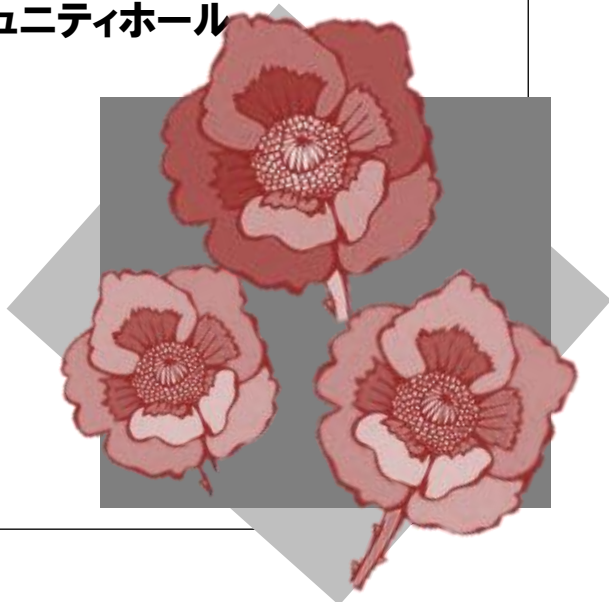
定 員 150名(事前申し込み制)

◆◆◆スペシャルタイム～福島の実況と報告

東北の復興状況の報告と今後について

福島県議会議員 西丸武進さんをお招きし、
ご講演いただきます。

※どなたでもご自由に参加できます。ご参加の申し込みは
くさか景子事務所にご連絡ください。





福島は日本全体の問題 —復興は未だ遠い！！福島に行ってきました—

12月中旬の寒い日、私は後援会の有志 12 人と共に、福島県いわき市へ復興状況の視察に行きました。

■放射能

茅ヶ崎からバスで 5 時間、持参した線量計は栃木県あたりからあがり、福島県に入ると 0.08~0.1、郡山市は 0.1 を超えて高くなり、0.4 や 0.5 となり、未だ放射能の影響を受けている実感がありました。茅ヶ崎(0.04 くらい)



ソーラーパネルつき線量計があちこちに

■避難

全国 32 万人の避難者のうち、約 15 万人半数が福島県民です。福島県からの県外避難者は約 58,000 人、神奈川県には 2,500 人、茅ヶ崎市には 140 人くらいで、主に、公営住宅や民間借り上げ住宅に住んでいます。県内にはもう避難所はなく、多くの人は仮設住宅、今後は、マンションのような集合住宅「災害公営住宅」の建設が待たれます。



未だ山積みのがれき

■がれき

福島県内のがれきは県外搬出できないので、処理が進まず未だ山積み状態でした。

■除染

避難指示を受けている地域は国が、年間 20 ミリシーベルト未満の地域は市町村が放射能の除染をすすめています、処理した土を置く仮置き場の手当ができない、まだ移染にすぎないという課題があります。

■風評被害

放射能物質が含まれる恐れがあるため、果物・魚などは安くたかかれています。ハワイアンズを含め旅館や観光地も影響を受けています。たわわに実った柿がとられず、もの悲しいものがありました。

■復興まちづくり

昨年 12 月福島県復興計画が各地区で策定され、集団移転は 4 地区となっています。

■原発

県をあげて、福島第 1、第 2 原子力発電所 10 基、すべて廃炉を希望しています。しかし、東電は、国のエネルギー政策を待って原発をどうするか決めるという方針です。

■私たちがこれからできること

福島応援ツアーなどに参加し宿泊や買い物をする、福島へふるさと納税をする、放射能から子どもを保護させている団体を応援するなど福島を側面から応援しましょう。

さらに、福島原発廃炉に向けて応援し、運動しましょう。